

**記者発表資料**

大阪経済記者クラブ会員各位

(社) 関西経済連合会  
大阪商工会議所**「第40回経営・経済動向調査」結果について**

関西経済連合会と大阪商工会議所は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は11月下旬から12月上旬に1,788社を対象に行い、うち461社から回答を得た(有効回答率25.8%)。

**【調査結果の特徴】****1 国内景気について ～足下は2期連続のマイナス。踊り場局面に**

- 10～12月期の国内景気について、7～9月期と比べ「上昇」と見る回答は13.9%、「下降」と見る回答は32.5%。この結果、BSIは▲18.5で、前期(7～9月期の▲17.1から1.4%ポイントの悪化、2四半期連続のマイナス)。
- 先行きについては、2011年1～3月期のBSIが▲15.9、4～6月期が+3.7と、4～6月期に改善する見込み。

**2 自社業況について ～足下は12期連続のマイナス。先行きもマイナス圏で推移**

- 10～12月期における自社業況の総合判断については、「上昇」が21.2%、「下降」が31.1%。この結果、BSIは▲9.9で、前期の▲10.6からほぼ横ばいとなった。
- 先行きについても、マイナス圏で推移する見通し。
- 大企業の足下BSIは▲3.5で、先行きは改善の見込み。一方、中小企業の足下BSIは▲13.8と、引き続き2ケタのマイナスであり、先行きもマイナス圏で推移する見込み。

**3 2011年の経営上の懸念事項について ～「政府の動向」がトップ**

- 2011年の経営上の懸念事項は、全体では「政府の動向(歳出抑制、増税、規制強化等)」との回答が34.1%で最多。
- 大企業は、「原油・原材料価格の高騰」31.3%、「米国、ユーロ圏の景気低迷」30.1%の順。中小企業では、「政府の動向」37.9%、「原油・原材料価格の高騰」26.3%の順。

**4 家電エコポイント・エコカー補助金終了の影響見込みについて**

- 家電エコポイント制度終了による、売上への影響があると回答した企業は31.9%であった。終了による反動減が続く時期の見込みは、「2011年1～3月期まで」13.4%、「年内まで」7.4%の順。
- エコカー補助金終了による、売上への影響があると回答した企業は35.6%であった。終了による反動減が続く時期は、「2011年1～3月期まで」11.3%、「2011年4～6月期まで」8.9%の順。

以上

# 第40回経営・経済動向調査

(社) 関西経済連合会 大阪商工会議所

## 目次

1. 国内景気	2
2. 自社業況 総合判断	3
3. 自社業況 個別判断	4
4. 2011年の経済の見通しについて	8
5. 来年1年間の経営上の懸念事項について	9
6. 家電エコポイント制度・エコカー補助金終了の影響について	10
参考—BSI値の推移	11

## 概要

調査対象: 関西経済連合会(甲種会員)・大阪商工会議所の会員企業 1,788社

調査時期: 2010年11月19日(金)～12月2日(木)

調査方法: 調査票の発送・回収ともFAXによる

回答状況: 461社 (有効回答率 25.8%) 大企業 176社 中小企業 285社

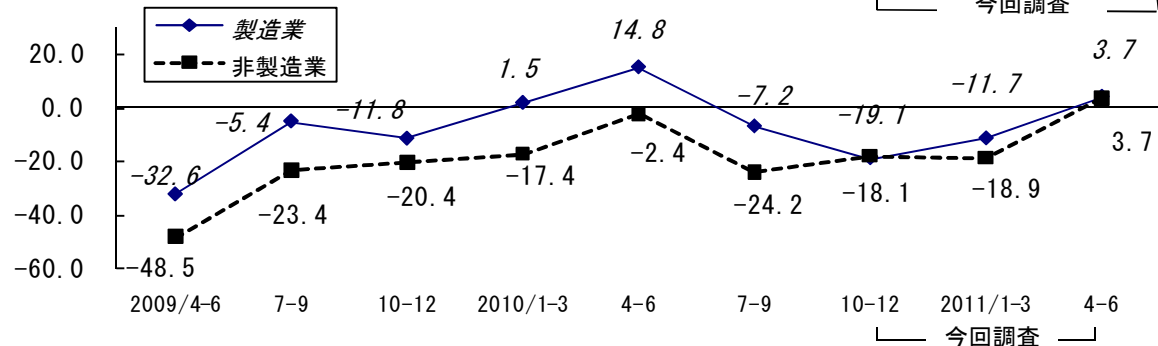
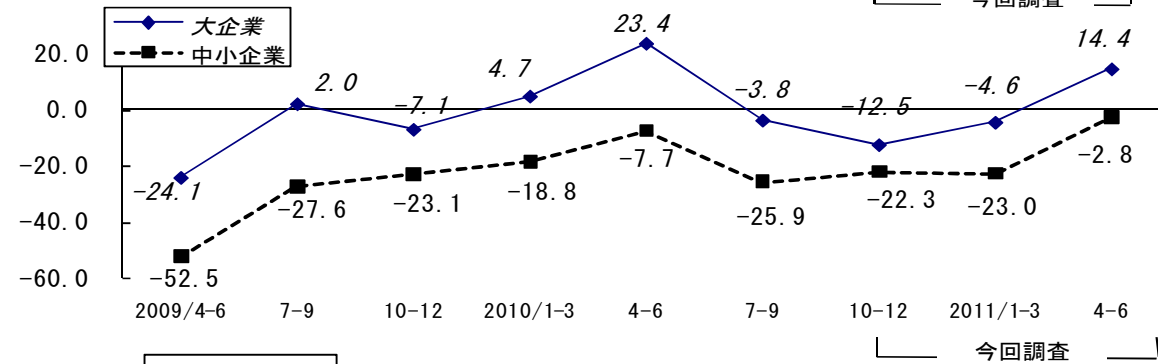
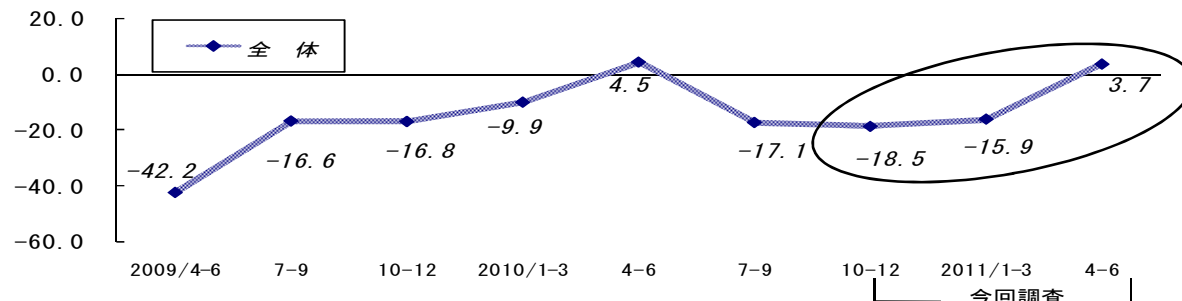
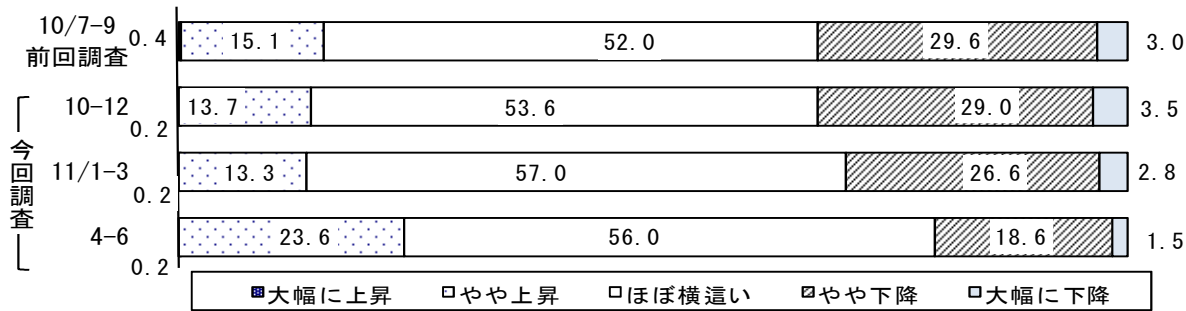
\*企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。

製造業他: 資本金3億円以下、卸売業: 資本金1億円以下、小売業・サービス業: 資本金5千万円以下  
規模・業種別回答状況:

	製造業			非製造業			
	大	中小	計	大	中小	計	
食料品	1	7	8	卸売業	24	67	91
繊維工業・製品	7	3	10	小売業	5	7	12
パルプ・紙製品	1	2	3	出版・印刷	0	8	8
化学工業	21	13	34	建設業	20	35	55
鉄鋼	6	9	15	不動産業	8	5	13
非鉄金属・金属製品	5	18	23	運輸・通信業	7	18	25
一般機械器具	7	7	14	金融・保険業	9	1	10
電気機械器具	12	10	22	電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	3
輸送用機械器具	3	4	7	サービス業	21	34	55
精密機械器具	3	7	10				
その他製造業	14	29	43				
計	80	109	189	計	96	176	272

# 1. 国内景気

## BSI(10~12月期)は▲18.5:2期連続のマイナス。踊り場局面に。



・2010年10~12月期における国内景気の実績見込みを「上昇」「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じとみる回答は13.9%と、前回調査(7~9月期)の15.5%から1.6%ポイント減少した。「下降」「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じとみる回答は、32.5%となり、前回(7~9月期)の32.6%からほぼ横ばい。  
 以上の結果、BSI(「上昇」割合-「下降」割合、以下同じ)は▲18.5で、前回(7~9月期)の▲17.1から1.4%ポイント悪化した。

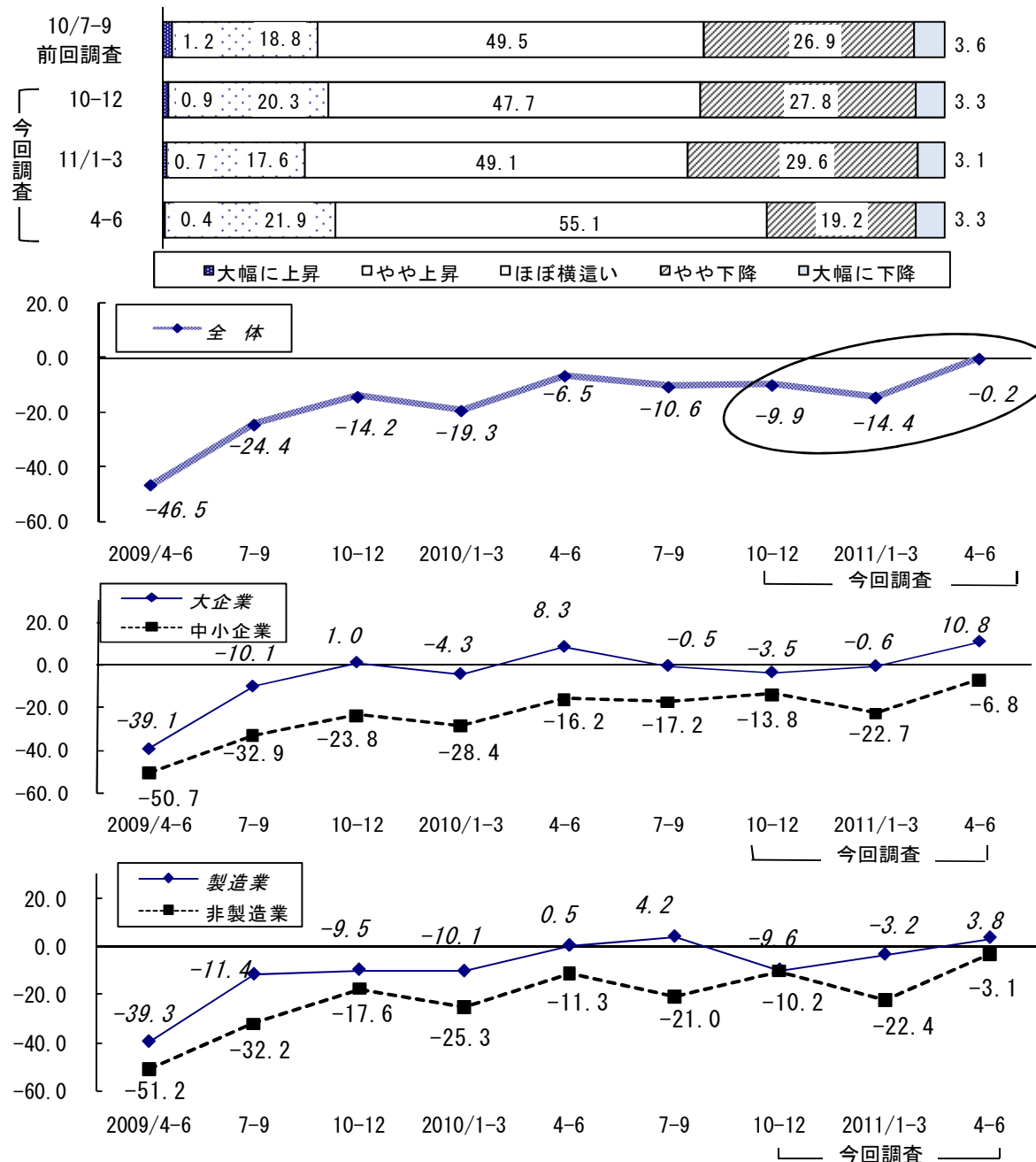
・先行きの見通しについては、2011年1~3月期のBSIは▲15.9、4~6月期は+3.7と、4~6月期にプラス圏内に改善する見込み。

・規模別では、大企業の足下10~12月期のBSIは▲12.5と、2期連続のマイナス。先行きは改善の見込み。  
 中小企業は足下▲22.3と、13期連続のマイナス。先行きもマイナス圏で推移。

・業種別では、製造業の足下10~12月期のBSIは▲19.1と、2期連続のマイナス。先行きは改善の見込み。  
 非製造業は、足下▲18.1と引き続きマイナスであるが、先行きは4~6月期に改善の見込み。

## 2. 自社業況

BSI(10~12月期)は▲9.9：12期連続のマイナス。先行きもマイナス圏で推移。



・自社業況の総合判断は、10~12月期における実績見込みのBSIが▲9.9と、12期連続のマイナス。前回調査(7~9月期)の▲10.6からは0.7%ポイント改善した。

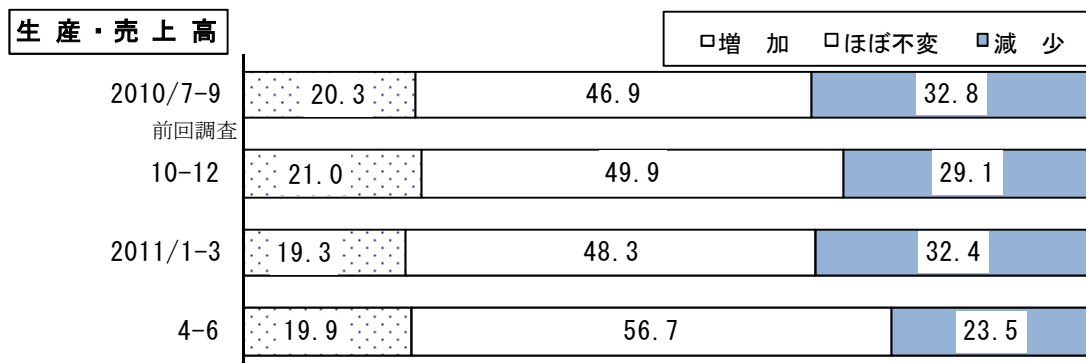
・先行きのBSIは、2011年1~3月期が▲14.4、4~6月期は▲0.2と、4~6月期に改善する見込み。

・規模別では、大企業の足下10~12月期のBSIは▲3.5と、2期連続のマイナス。先行きは改善の見込み。  
中小企業の足下のBSIは▲13.8と、引き続き2ケタのマイナスであり、先行きもマイナス圏で推移する見込み。

・業種別では、製造業の足下10~12月期のBSIは▲9.6と、3期ぶりのマイナス。先行きは改善の見込み。  
非製造業は、足下10~12月期のBSIが▲10.2と引き続き2ケタのマイナスであり、先行きもマイナス圏で推移する見込み。

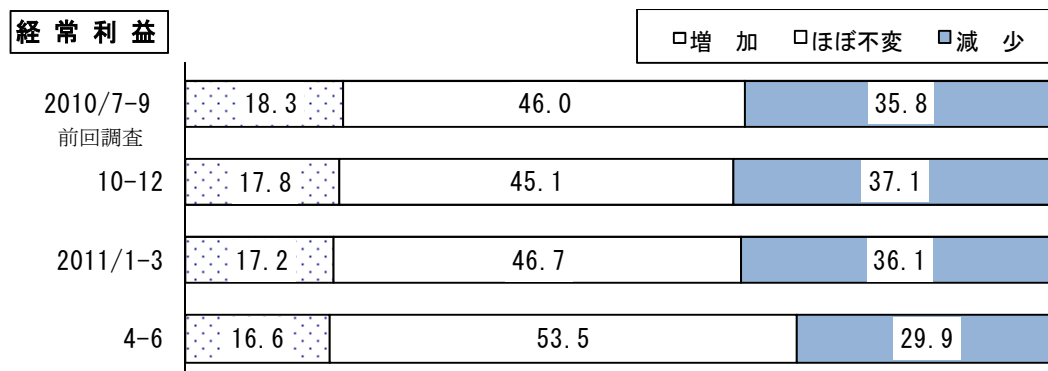
### 3. 自営業況 個別判断

#### 足下(10~12月)実績見込、先行きとも足踏み状態。



#### 【生産・売上高について】

・10~12月期実績見込みは「減少」が29.1%と、「増加」の21.0%を上回る。BSIは▲8.1となり、前期(7~9月期)実績見込みの▲12.4から4.3%ポイント改善した。先行きも「減少」が「増加」を上回る。



#### 【経常利益について】

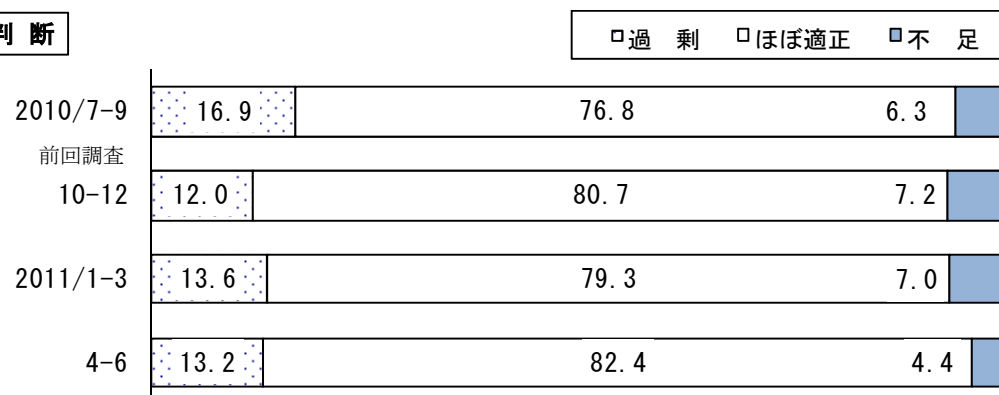
・10~12月期実績見込みは、「減少」が37.1%と、「増加」の17.8%を上回る。BSIは、▲19.3となり、前期(7~9月期)実績見込みの▲17.5から1.8%ポイント悪化した。先行きも「減少」が「増加」を上回る。



#### 【製・商品の価格について】

・10~12月期実績見込みは、「下降」が20.1%と、「上昇」4.5%を上回った。先行きも「下降」が「上昇」を上回るが、「ほぼ不変」も7割以上を占める。

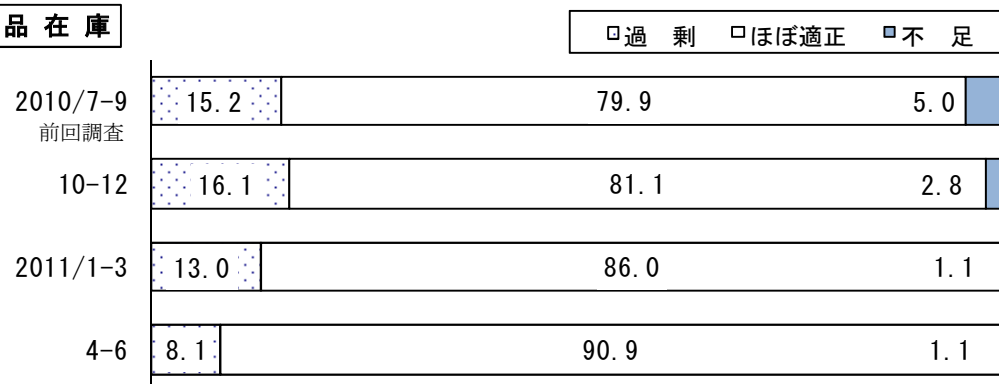
### 雇用判断



#### 【雇用判断について】

・10～12月期実績見込みは「過剰」が12.0%と、「不足」の7.2%を上回ったが、「ほぼ適正」も80.7%を占める。先行きも「過剰」が「不足」を上回るものの、ほぼ横ばいで推移する見込み。

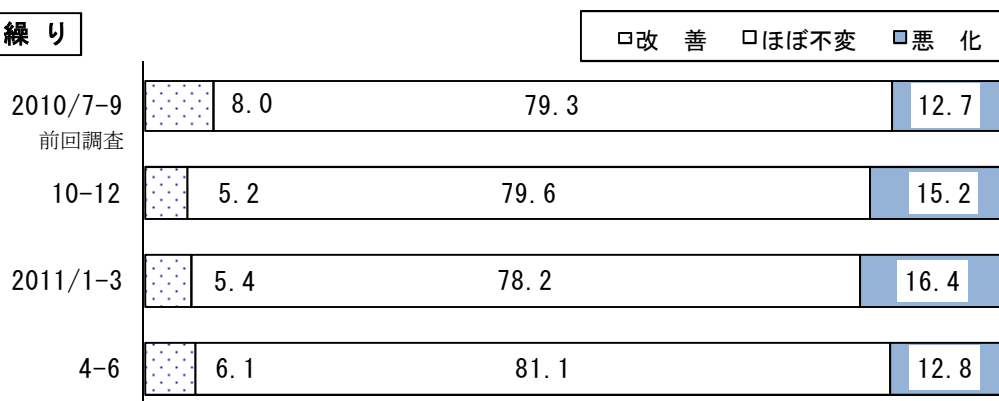
### 製・商品在庫



#### 【製・商品在庫について】

・10～12月期実績見込みは「過剰」が16.1%と、「不足」2.8%を上回った。先行きも、「過剰」が「不足」を上回るものの、4～6月期には「ほぼ適正」とする回答が9割を超え、過剰感は和らぐ見込み。

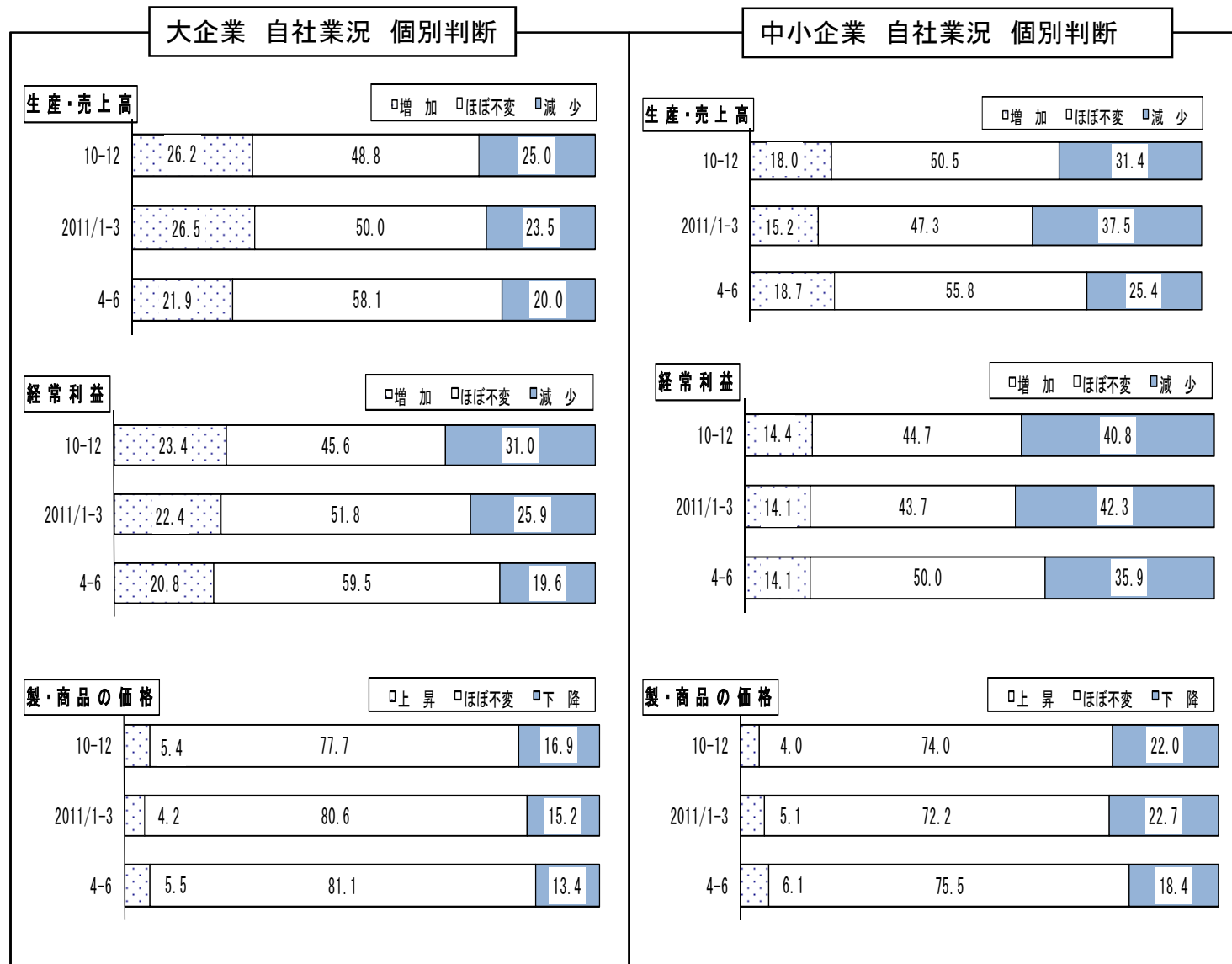
### 資金繰り



#### 【資金繰りについて】

・10～12月期実績見込みは、「悪化」が15.2%と、「改善」の5.2%を上回るが、「ほぼ不変」も79.6%を占める。先行きも「ほぼ不変」とする回答が約8割を占める。

## 【参考—個別判断 企業規模別】



### 【生産・売上高について】

- ・大企業は足下・先行きとも、「増加」が「減少」を上回る。
- ・中小企業は足下「減少」との回答が31.4%を占め、厳しい見方。先行きは、1～3月期に「減少」との回答が増加する。

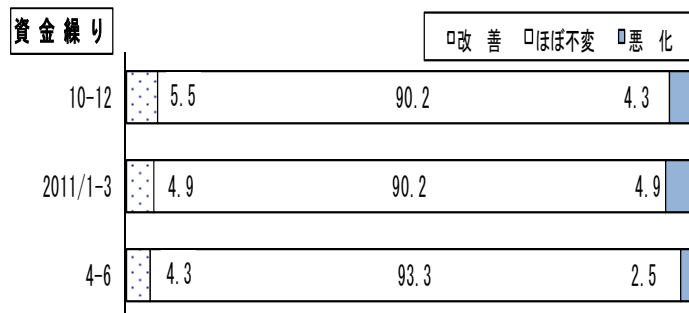
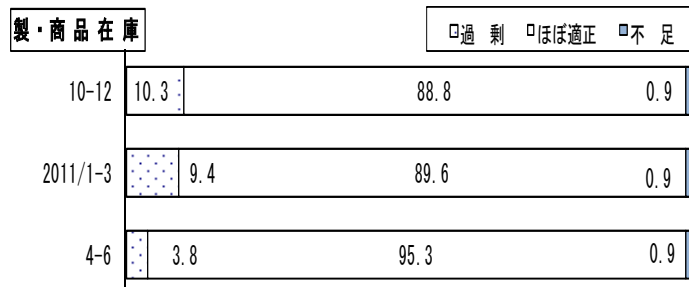
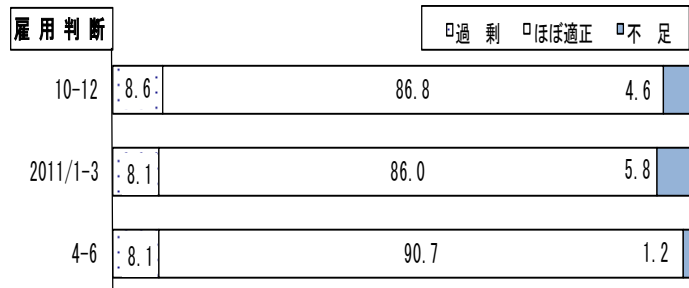
### 【経常利益について】

- ・大企業は、先行き「減少」との回答が減少し、4～6月期には、「増加」が「減少」を上回る。
- ・中小企業は、足下・先行きとも「減少」が「増加」を大幅に上回り、厳しい見方が続く。

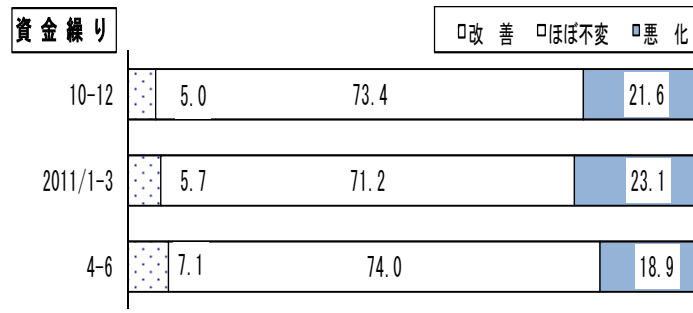
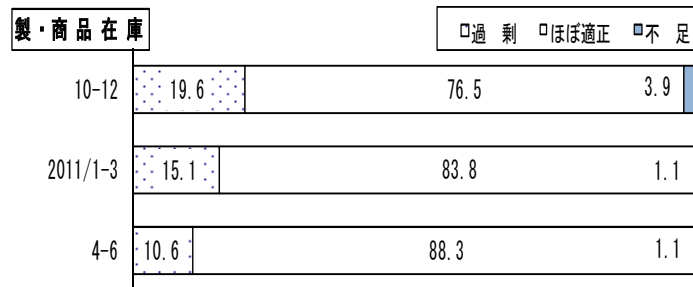
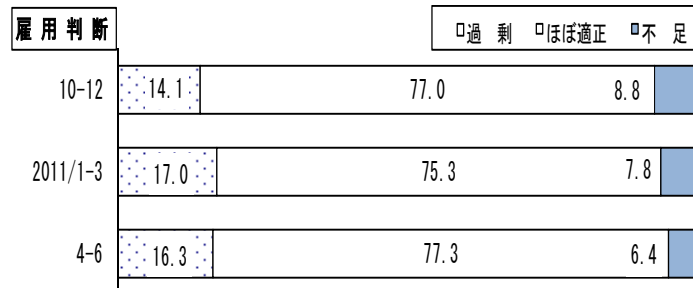
### 【製・商品の価格について】

- ・大企業では、先行き、「下降」とする回答が減少するが、中小企業では、「下降」とする回答がほぼ横ばいで推移。
- ・大企業・中小企業とも、足下・先行きとも「ほぼ不変」が7割以上を占める。

大企業 自社業況 個別判断



中小企業 自社業況 個別判断



【雇用判断について】

- ・大企業・中小企業とも、足下・先行きとも「過剰」が「不足」を上回る。
- ・大企業では、「ほぼ適正」とする回答が4～6月期に9割を占めるが、中小企業は、引き続き過剰感が高い。

【製・商品在庫について】

- ・大企業は、先行き「ほぼ適正」とする回答が約9割を占める。
- ・中小企業の方が過剰感は高いが、先行き過剰感は和らぐ見込み。

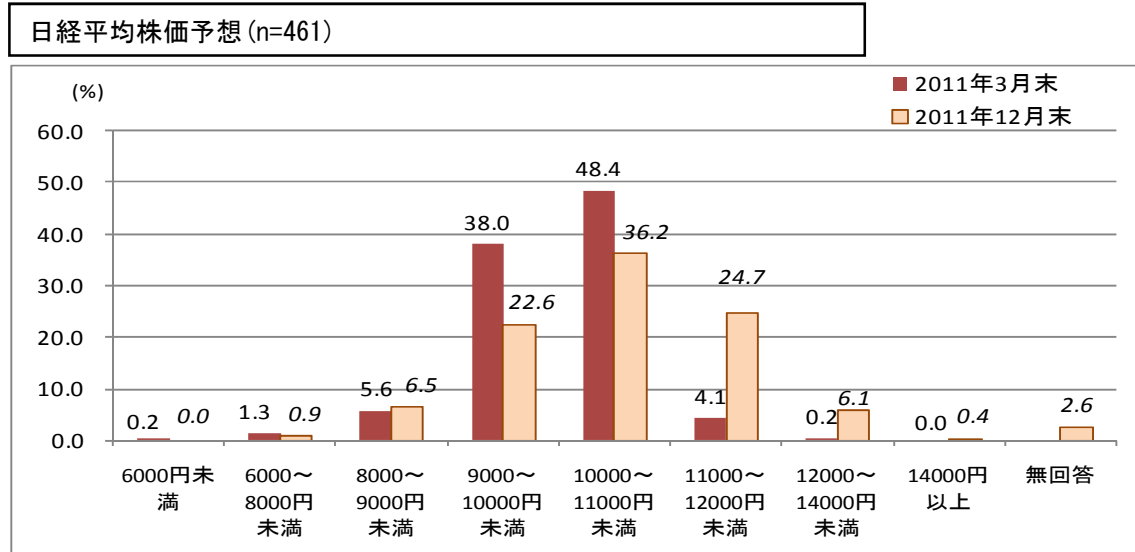
【資金繰りについて】

- ・大企業では、足下・先行きとも「ほぼ不変」との回答が9割を占める。
- ・中小企業では、足下・先行きとも「悪化」が「改善」を上回り、大企業に比べ厳しい見方が続く。



### 3. 2011年の経済の見通しについて

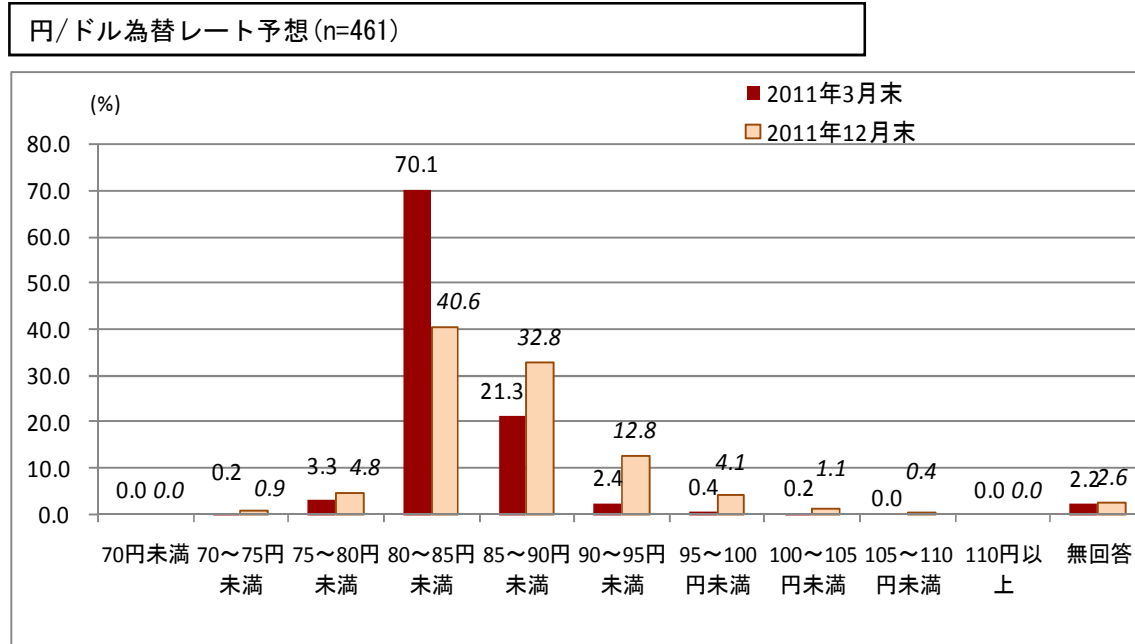
#### (1)2011年3月末及び、2011年12月末の日経平均株価予想



•2011年3月末は、「10000～11000円未満」(48.4%)との回答が最も多く、次に「9000～10000円未満」(38.0%)が続く。

•2011年12月末では、「10000～11000円未満」(36.2%)、「11000～12000円未満」(24.7%)、「9000～10000円未満」(22.6%)の順。

#### (2)2011年3月末及び、2011年12月末の円/ドル為替レート予想

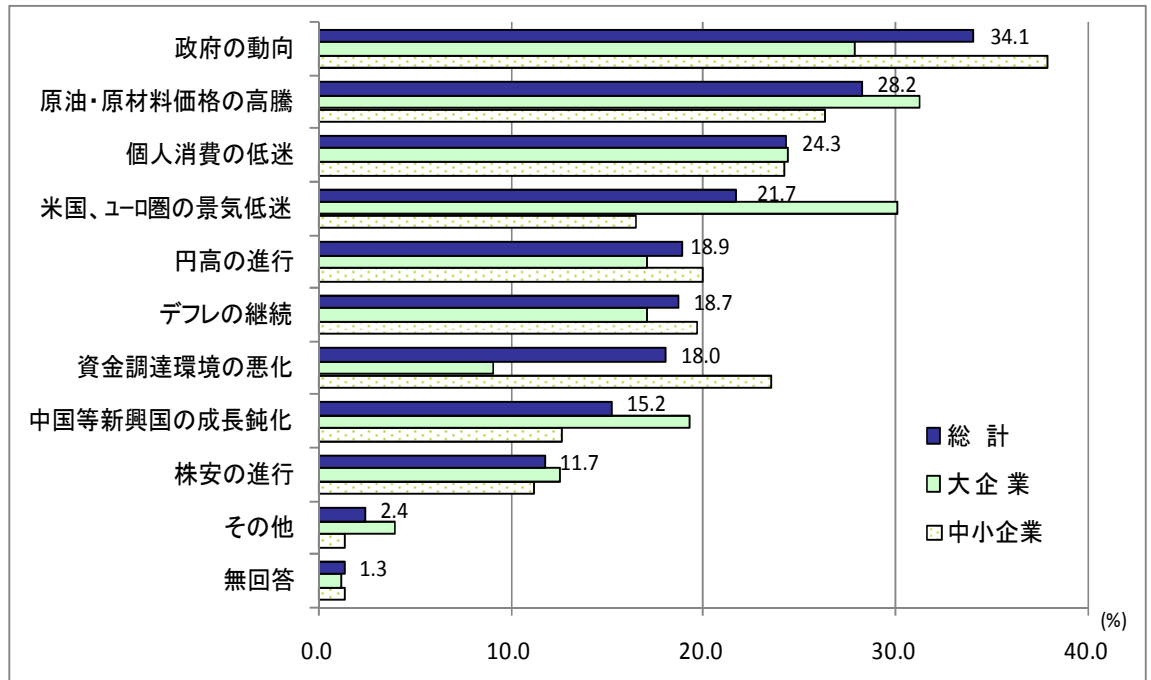


•2011年3月末は、「80～85円未満」(70.1%)、との回答が最も多く、7割を占める。次に、「85～90円未満」(21.3%)との回答が続く。

•2011年12月末も、「80～85円未満」(40.6%)が最も多く、次に「85～90円未満」(32.8%)が続く。

### (3) 来年1年間の経営上の懸念事項

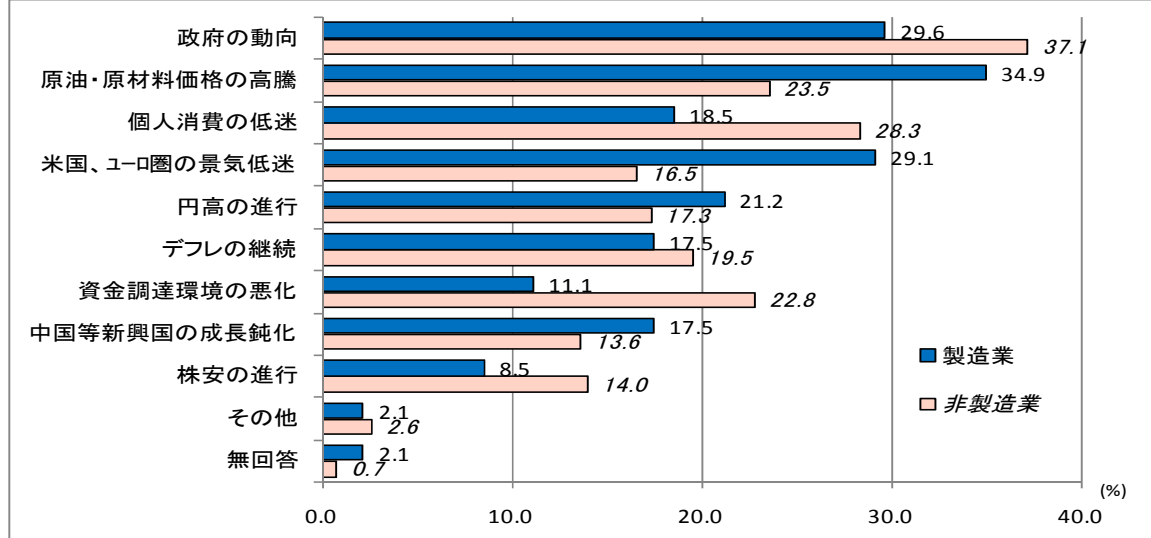
来年1年間の経営上の懸念事項について (n=461、3つ選択) 総計・規模別



・ 来年1年間の経営上の懸念事項を聞いたところ、「政府の動向(歳出抑制、増税、規制強化等)」が最も多く、34.1%であった。  
次いで、「原油・原材料価格の高騰」(28.2%)、「個人消費の低迷」(24.3%)、「米国・ユーロ圏の景気低迷」(21.7%)が続く。

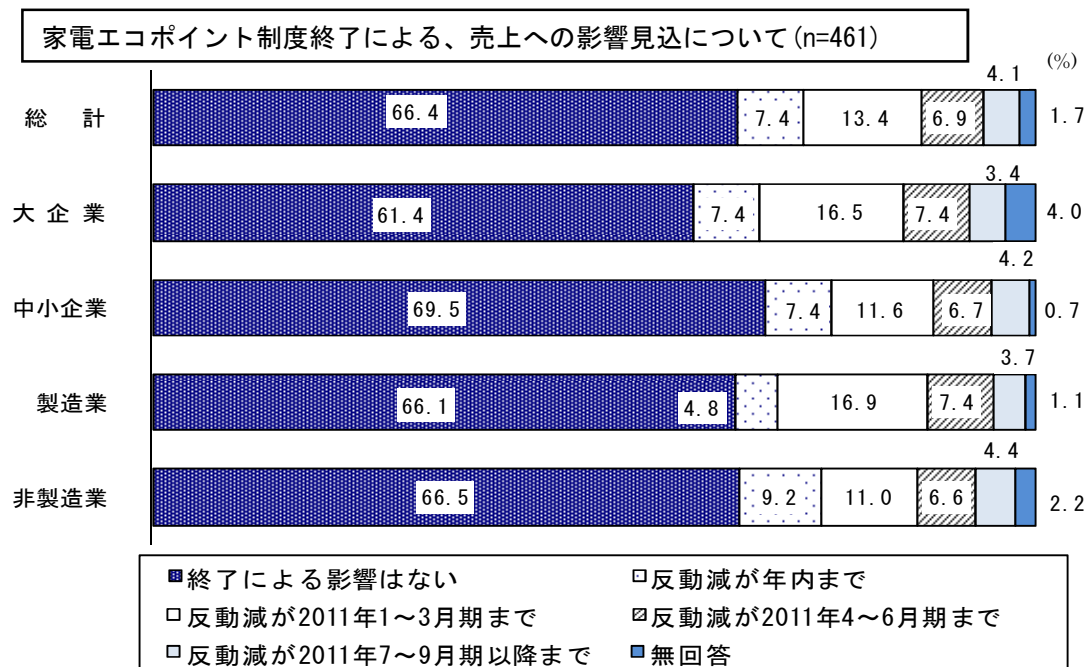
・ 規模別では、大企業では「原油・原材料価格の高騰」(31.3%)との回答が最も多く、次いで、「米国・ユーロ圏の景気低迷」(30.1%)、「政府の動向」(27.8%)、「個人消費の低迷」(24.4%)が続く。  
中小企業では、「政府の動向」(37.9%)との回答が最も多く、次いで、「原油・原材料価格の高騰」(26.3%)、「個人消費の低迷」(24.2%)、「資金調達環境の悪化」(23.5%)、が続く。

来年1年間の経営上の懸念事項について (n=461、3つ選択) 業種別



・ 業種別では、製造業では「原油・原材料価格の高騰」(34.9%)との回答が最も多く、次いで、「政府の動向」(29.6%)、「米国・ユーロ圏の景気低迷」(29.1%)、「個人消費の低迷」(18.5%)、が続く。  
非製造業では、「政府の動向」(37.1%)との回答が最も多く、次いで、「個人消費の低迷」(28.3%)、「原油・原材料価格の高騰」(23.5%)、「資金調達環境の悪化」(22.8%)、が続く。

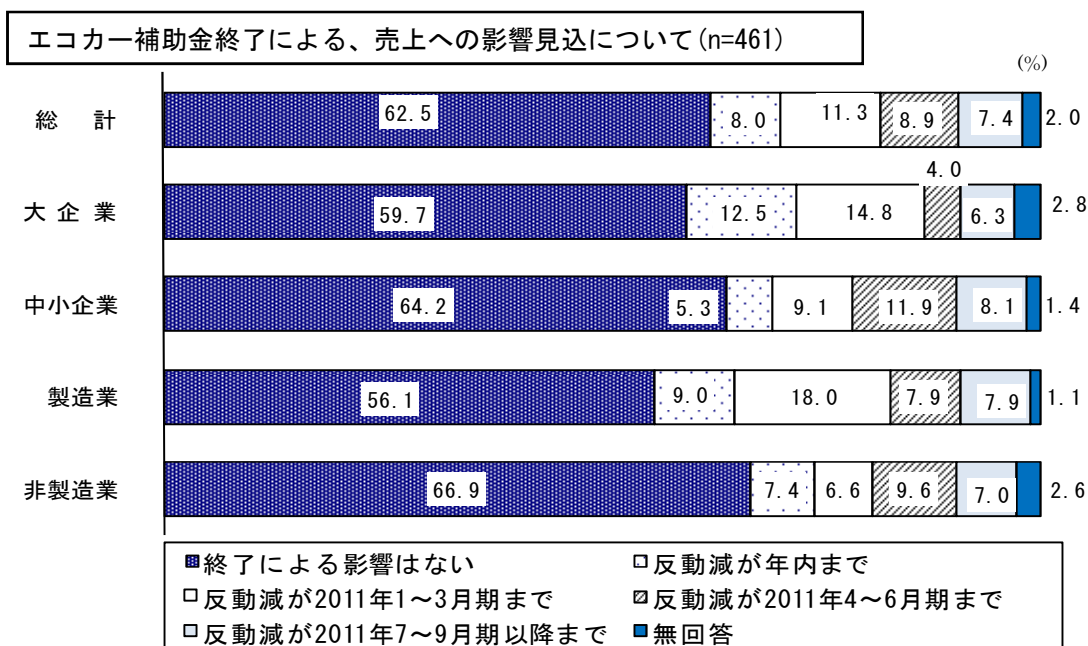
## 4. 家電エコポイント制度・エコカー補助金終了の影響について



・家電エコポイント制度の終了による、売上への影響見込みを聞いたところ、影響があると回答した企業は31.9%であった。影響があると回答では、「終了による反動減が2011年1～3月期まで続く」(13.4%)、「終了による反動減が年内まで続く」(7.4%)、「終了による反動減が2011年4～6月期まで続く」(6.9%)、「終了による反動減が2011年7～9月期以降まで続く」(4.1%)の順。

・制度終了による反動減を見込んでいる企業が多いのは、パルプ・紙製品製造業(影響があると回答が100%)、鉄鋼業(同60.0%)、等の業種。

・反動減が長期間続くと見込んでいる企業が多いのは、非鉄金属・金属製品製造業(「反動減が2011年7～9月期以降まで続く」とする回答が17.4%)、鉄鋼業(同13.3%)、等の業種。



・エコカー補助金の終了による、売上への影響見込みを聞いたところ、影響があると回答した企業は35.6%であった。影響があると回答では、「終了による反動減が2011年1～3月期まで続く」(11.3%)、「終了による反動減が2011年4～6月期まで続く」(8.9%)、「終了による反動減が年内まで続く」(8.0%)、「終了による反動減が2011年7～9月期以降まで続く」(7.4%)の順。

・補助金終了による反動減を見込んでいる企業が多いのは、鉄鋼業(影響があると回答が80.0%)、繊維工業・繊維製品製造業(同70.0%)、パルプ・紙製品製造業(同66.7%)、等の業種。

・反動減が長期間続くと見込んでいる企業が多いのは、鉄鋼業、繊維工業・繊維製品製造業(「反動減が2011年7～9月期以降まで続く」とする回答が20.0%)、一般機械器具製造業(同14.3%)、等の業種。

【参考－BSI値の推移】 国内景気は前回(9月)調査時の予測値を上回り、自社業況は下回る。

回数・時期	国内景気			自社業況			
	足下	3ヵ月後	6ヵ月後	足下	3ヵ月後	6ヵ月後	
1	2001年3月	-56.4	-33.1	-9.8	-21.6	-17.7	-0.9
2	2001年6月	-44.2	-23.5	6.7	-31.7	-6.8	9.5
3	2001年9月	-78.6	-58.1	-37.7	-44.8	-27.9	-21.7
4	2001年12月	-69.8	-59.3	-26.8	-38.4	-30.9	-17.4
5	2002年3月	-66.1	-33.7	-11.5	-37.6	-20.1	-3.2
6	2002年6月	-7	6.4	31	-19.9	-2.5	15.6
7	2002年9月	-19	-4.4	2	-15.8	-5.5	-3.1
8	2002年12月	-39	-40.5	16.1	-7.9	-18.8	-10.8
9	2003年3月	-40.3	-26.7	-12.8	-16.9	-19.1	-7.2
10	2003年6月	-36	-26.1	-5	-25.1	-10.9	4.3
11	2003年9月	6.1	20.8	16.8	-5.2	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	16.6	27.5	12.3	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37	32.9	5.5	8.1	13
14	2004年6月	40.5	34.6	35.6	6.8	18.3	22.3
15	2004年9月	35	29.3	15	14	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	-9.6	4.5	7.1	4.8	4.6
17	2005年3月	-10	5.5	15.7	-3	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	12.9	28.2	-1.1	11	19.9
19	2005年9月	24	27.6	23	4.1	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	36.8	36.3	16.9	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.5	39.8	14.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	39	30.6	7.4	20	25.1
23	2006年9月	35.3	34.5	18.7	8.4	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	15.5	15.6	20.7	13	12.8
25	2007年3月	20.4	29.7	24.9	7.3	16	20.9
26	2007年6月	15.1	19.8	22	-0.2	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	13.5	10.2	-1.2	11.6	12.1
28	2007年12月	-15.9	-22.1	-10.1	3.7	-2	-0.2
29	2008年3月	-43.9	-35.1	-18.8	-15.6	-12.9	-2.6
30	2008年6月	-48.6	-44.6	-32.4	-22.6	-17.5	-6.9
31	2008年9月	-66.2	-55.8	-42.2	-27.9	-17.7	-17.4
32	2008年12月	-83.1	-78.4	-56.9	-41.7	-42.4	-33.4
33	2009年3月	-87.9	-65.3	-39.2	-63.9	-52.6	-36.2
34	2009年6月	-42.2	-19.6	8.5	-46.5	-23	-1.3
35	2009年9月	-16.6	-5	1.7	-24.4	-11.1	-10.2
36	2009年12月	-16.8	-23.6	-5.4	-14.2	-23.6	-16.8
37	2010年3月	-9.9	-1.4	8.6	-19.3	-12.2	-16.8
38	2010年6月	4.5	5.3	18.7	-6.5	-0.2	12.8
39	2010年9月	-17.1	-20.2	-17.0	-10.6	-6.3	-10.0
40	2010年12月	-18.5	-15.9	3.7	-9.9	-14.4	-0.2
備考	・足下BSI値は、2期連続のマイナス。 ・足下、先行きとも、前回(9月)調査時予測値を上回る。			・足下BSI値は、12期連続のマイナス。 ・足下、先行きとも、前回(9月)調査時予測値を下回る。			

## 国内景気判断と自社業況判断の推移

